

公益社団化

第1回通常総会議案書

令和4年6月6日(月)

メルパルク名古屋



公益社団法人 昭和法人会

- ※ 「総会出欠アンケート(委任状)」を、早期に提出願います。
- ※ 総会に出席の方は、この議案書をご持参ください。

公益社団化

第 1 回 通 常 総 会 次 第

- 1.開会のことば
- 2.会 長 挨 拶
- 3.議 長 選 出
- 4.議事録署名人選任
- 5.議 事
第 1 号議案 令和 3 年度決算報告承認の件
第 2 号議案 役員補充選任案承認の件
- 6.報 告 事 項
 - (1) 令和 3 年度事業報告
 - (2) 令和 4 年度事業計画
 - (3) 令和 4 年度収支予算
- 7.表彰状・感謝状贈呈
- 8.来 賓 祝 辞
- 9.閉会のことば

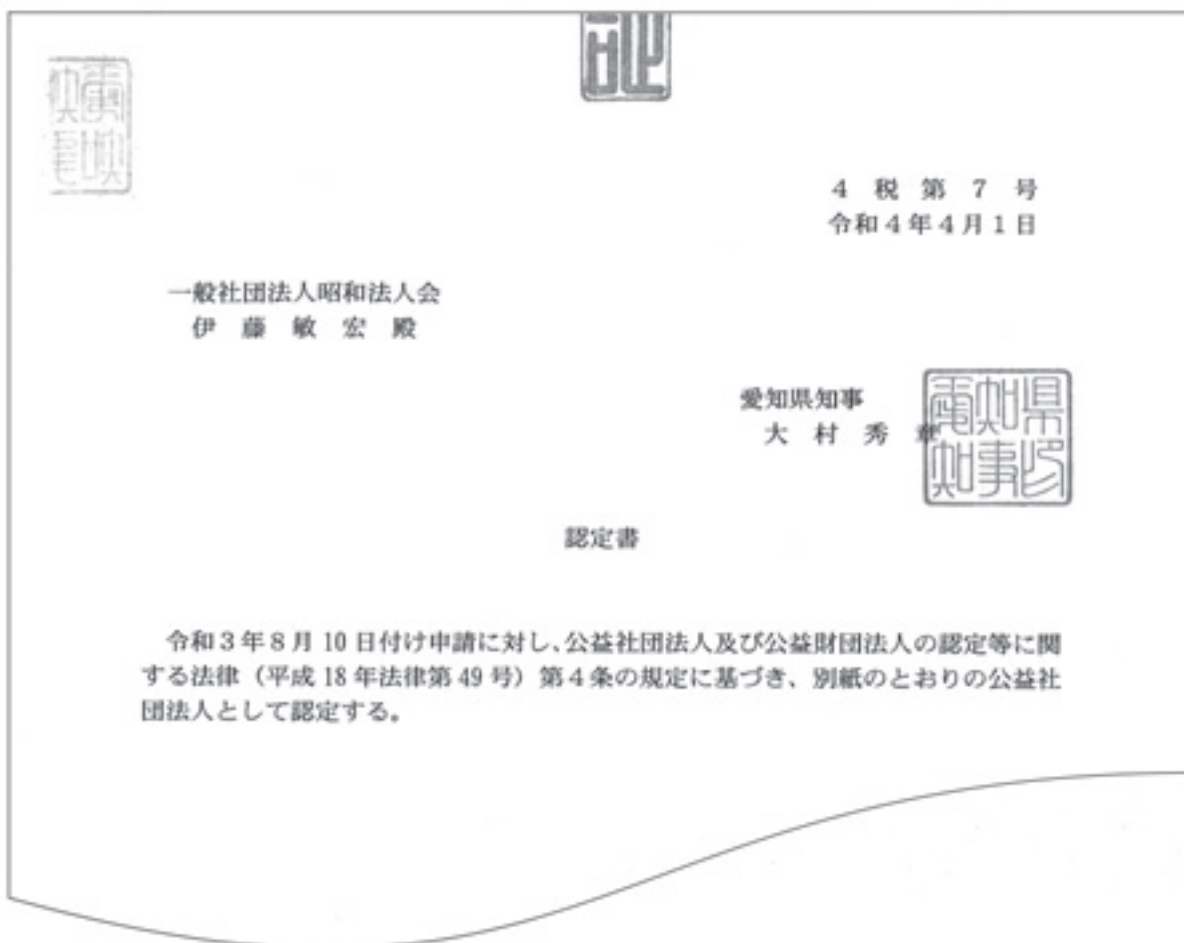
一般社団法人昭和法人会は、令和4年4月1日付で「公益社団法人昭和法人会」に生まれ変わりました。

昨年の第9回通常総会にてご承認をいただいた公益社団化につきまして、令和3年8月10日付で愛知県に対し「公益認定申請書」を提出し、令和4年4月1日付で下記の通り愛知県から「認定書」をいただきましたので、ここに新生「公益社団法人昭和法人会」として新たな船出をさせていただきます。

令和4年吉日

公益社団法人 昭和法人会

(愛知県から受領した認定書)



第1号議案 令和3年度決算報告承認の件

① 正味財産増減計算書

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

(単位：円)

科目	当年度	前年度	備考
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 基本財産運用益	238	849	
基本財産受取利息	238	849	
特定財産運用益	127	595	
特定財産受取利息	127	595	
受取会費	29,773,000	31,095,000	
正会員会費収入	29,506,000	30,828,000	
賛助会員会費収入	267,000	267,000	
事業収益	2,657,707	2,039,355	
研修事業収益	82,000	98,000	研修会テキスト代
広報事業収益	600,000	600,000	広報誌広告掲載料
福利厚生事業収益	974,086	628,444	健診委託手数料
会員親睦事業収益	582,420	142,000	会員交流参加費
簡易保険取扱事業収益	419,201	570,911	簡保取扱い手数料
受取補助金等	20,672,795	21,374,453	
受取全法連助成金	1,482,895	1,992,853	
受取全法連補助金	18,843,900	19,115,600	公益事業に資するもの
受取県連補助金	346,000	266,000	
受取負担金	1,334,000	1,475,000	
受取部会負担金	1,334,000	1,475,000	部会年会費
雑収益	1,015,495	293,292	
受取利息	280	127	
雑収益	1,015,215	293,165	折込料等
経常収益計	55,453,362	56,278,544	前年対比825千円減
(2) 経常費用			
事業費	37,930,293	32,961,847	前年対比4,968千円増
役員報酬	4,434,000	4,434,000	常勤役員分
給料手当	8,430,073	7,667,085	事務局職員分
退職給付費用	0	1,539,861	
中退共済掛金	532,080	496,608	
福利厚生費	2,044,140	1,859,434	法定福利費含む
会議費	1,771,391	591,710	
旅費交通費	1,234,533	436,662	
通信運搬費	2,245,821	1,923,359	催事案内等発送費
消耗品費	2,099,430	2,349,253	図書寄贈費用を含む
印刷製本費	4,608,791	5,191,117	広報誌発行費用
光熱水道費	291,628	262,460	
賃借料	2,217,000	2,217,000	事務局賃借料
諸謝金	3,157,518	876,247	研修会、講演会等講師料
租税公課	887	0	
支払負担金	368,130	207,000	県連、税連協負担金
委託費	223,582	472,817	
会場費	2,452,897	816,977	研修会、講演会等会場費用
広告宣伝費	48,600	48,600	
表彰費	14,000	16,000	会員増強褒賞金
リース料	745,270	721,378	コピー機・電話器等リース料
支払手数料	516,751	533,435	簡保口振手数料含む
新聞図書費	32,530	33,536	
雑費	461,241	267,308	

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	備 考
管理費	12,117,754	11,634,511	前年対比483千円増
役員報酬	1,566,000	1,566,000	常勤役員分
給料手当	2,977,332	2,707,860	事務局職員分
退職給付費用	0	543,848	
中退共済掛金	187,920	175,392	
福利厚生費	721,949	656,714	法定福利費含む
会議費	1,706,468	961,075	
旅費交通費	140,657	149,589	
通信運搬費	1,051,157	929,335	
消耗品費	285,258	397,674	記念品等
印刷製本費	1,474,594	1,621,611	広報誌、封筒、コピー費用等
光熱水道費	102,997	92,695	
賃借料	783,000	783,000	事務局賃借料
租税公課	313	0	
支払負担金	89,120	216,650	県連会費等
支払寄付金	3,000	3,000	
委託費	78,441	79,206	PCAソフト保守料等
広告宣伝費	11,400	11,400	
渉外慶弔費	67,313	15,488	慶弔費等
表彰費	50,000	35,000	
リース料	263,214	254,776	コピー、電話等リース料
支払手数料	455,690	332,418	司法書士手数料、銀行振込手数料等
新聞図書費	11,488	11,844	
雑費	90,443	89,936	
經常費用計	50,048,047	44,596,358	前年対比5,451千円増
評価損益等調整前当期經常増減額	5,405,315	11,682,186	
評価損益等計	0	0	
当期經常増減額	5,405,315	11,682,186	前年対比6,276千円減
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益計	0	0	
(2) 經常外費用計	0	0	
当期經常外増減額	0	0	
他勘定振替額	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	5,405,315	11,682,186	
法人税、住民税及び事業税	71,000	73,500	
当期一般正味財産増減額	5,334,315	11,608,686	
一般正味財産期首残高	48,088,924	36,480,238	
一般正味財産期末残高	53,423,239	48,088,924	
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	
受取全法連助成金	18,843,900	19,115,600	
一般正味財産への振替額	-18,843,900	-19,115,600	
指定正味財産期首残高	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	
III 正味財産期末残高	53,423,239	48,088,924	前年対比5,334千円増

② 正味財産増減計算書（内訳表）

（自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日）

（単位：円）

内 訳		継 1	継 2	継 共	小 計	他 1	他 2	小 計	法人会計	計
科 目	目 録									
経 常 収 益	利息収入	0	0	0	0	0	0	0	238	238
	受取利息	0	0	0	0	0	0	0	127	127
	受取利息	0	0	11,802,400	11,802,400	0	7,376,500	7,376,500	10,327,100	29,506,000
	受取利息	0	0	106,800	106,800	0	66,750	66,750	93,450	267,000
	受取利息	40,000	42,000	0	82,000	0	0	0	0	82,000
	受取利息	0	0	0	0	600,000	0	600,000	0	600,000
	受取利息	0	0	0	0	974,086	0	974,086	0	974,086
	受取利息	0	0	0	0	0	582,420	582,420	0	582,420
	受取利息	0	0	0	0	419,201	0	419,201	0	419,201
	受取利息	0	0	18,843,900	18,843,900	0	0	0	0	18,843,900
	受取利息	0	0	0	0	0	50,000	50,000	296,000	346,000
	受取利息	0	0	0	0	0	1,482,895	1,482,895	0	1,482,895
受取利息	0	0	0	0	0	1,334,000	1,334,000	0	1,334,000	
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	280	280	
受取利息	0	0	0	0	0	287,000	287,000	728,215	1,015,215	
経 常 収 益 計		40,000	42,000	30,753,100	30,835,100	1,993,287	11,179,565	13,172,852	11,445,410	55,453,362
事 業 費	役員報酬	3,264,000	600,000	0	3,864,000	372,000	198,000	570,000	0	4,434,000
	給料	6,205,630	1,140,740	0	7,346,370	707,259	376,444	1,083,703	0	8,430,073
	退職金	391,680	72,000	0	463,680	44,640	23,760	68,400	0	532,080
	福利厚生	1,504,755	276,608	0	1,781,363	171,497	91,280	262,777	0	2,044,140
	会議交通費	187,745	82,435	0	270,180	10,086	1,491,125	1,501,211	0	1,771,391
	旅費	417,044	133,934	0	550,978	32,087	651,468	683,555	0	1,234,533
	通信費	1,643,701	363,515	0	2,007,216	71,774	166,831	238,605	0	2,245,821
	消耗品	1,637,214	30,726	0	1,667,940	16,580	414,910	431,490	0	2,099,430
	印刷製本	2,849,808	1,041,676	0	3,891,484	287,621	429,686	717,307	0	4,608,791
	光熱水借	214,678	39,462	0	254,140	24,466	13,022	37,488	0	291,628
	賃借料	1,632,000	300,000	0	1,932,000	186,000	99,000	285,000	0	2,217,000
	諸謝金	166,429	2,991,089	0	3,157,518	0	0	0	0	3,157,518
	租税公	654	120	0	774	74	39	113	0	887
	支払負担	263,960	15,985	0	279,945	9,910	78,275	88,185	0	368,130
	支委会託	73,994	140,403	0	214,397	9,185	0	9,185	0	223,582
	広告知	471,837	1,524,105	0	1,995,942	0	456,955	456,955	0	2,452,897
	表彰伝	34,320	10,020	0	44,340	4,260	0	4,260	0	48,600
	一又	0	0	0	0	0	14,000	14,000	0	14,000
支手数	548,617	100,848	0	649,465	62,526	33,279	95,805	0	745,270	
新聞手	349,642	64,513	0	414,155	81,507	21,089	102,596	0	516,751	
雑誌手	23,948	4,401	0	28,349	2,729	1,452	4,181	0	32,530	
新聞手	188,511	80,879	0	269,390	21,484	170,367	191,851	0	461,241	
計		22,070,167	9,013,459	0	31,083,626	2,115,685	4,730,982	6,846,667	0	37,930,293
管 理 費	役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	1,566,000	1,566,000
	給料	0	0	0	0	0	0	0	2,977,332	2,977,332
	退職金	0	0	0	0	0	0	0	187,920	187,920
	福利厚生	0	0	0	0	0	0	0	721,949	721,949
	会議交通費	0	0	0	0	0	0	0	1,706,468	1,706,468
	旅費	0	0	0	0	0	0	0	140,657	140,657
	通信費	0	0	0	0	0	0	0	1,051,157	1,051,157
	消耗品	0	0	0	0	0	0	0	285,258	285,258
	印刷製本	0	0	0	0	0	0	0	1,474,594	1,474,594
	光熱水借	0	0	0	0	0	0	0	102,997	102,997
	賃借料	0	0	0	0	0	0	0	783,000	783,000
	諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	313	313
	租税公	0	0	0	0	0	0	0	89,120	89,120
	支払負担	0	0	0	0	0	0	0	3,000	3,000
	支委会託	0	0	0	0	0	0	0	78,441	78,441
	広告知	0	0	0	0	0	0	0	11,400	11,400
	表彰伝	0	0	0	0	0	0	0	67,313	67,313
	一又	0	0	0	0	0	0	0	50,000	50,000
支手数	0	0	0	0	0	0	0	263,214	263,214	
新聞手	0	0	0	0	0	0	0	455,690	455,690	
雑誌手	0	0	0	0	0	0	0	11,488	11,488	
新聞手	0	0	0	0	0	0	0	90,443	90,443	
計		0	0	0	0	0	0	0	12,117,754	12,117,754
経 常 費 用 計		22,070,167	9,013,459	0	31,083,626	2,115,685	4,730,982	6,846,667	12,117,754	50,048,047
当期経常増減額		-22,030,167	-8,971,459	30,753,100	-248,526	-122,398	6,448,583	6,326,185	-672,344	5,405,315
他 勘 定 振 替 額					0			0		0
法人税、住民税及び事業税					0	71,000		71,000		71,000
当期一般正味財産増減額		-22,030,167	-8,971,459	30,753,100	-248,526	-193,398	6,448,583	6,255,185	-672,344	5,334,315
一般正味財産期首残高										48,088,924
一般正味財産期末残高										53,423,239
当期指定正味財産増減額										0
受取全法連助成金				18,843,900	18,843,900					18,843,900
一般正味財産への振替額				-18,843,900	-18,843,900					-18,843,900
指定正味財産期首残高										0
指定正味財産期末残高										0
正味財産期末残高										53,423,239

③ 貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	192,847	231,874	-39,027
普通預金	32,679,603	31,200,430	1,479,173
振替貯金	182,398	118,640	63,758
定期預金	3,310,317	1,916,291	1,394,026
流動資産合計	36,365,165	33,467,235	2,897,930
2. 固定資産			
(1) 基本財産	13,000,000	10,000,000	3,000,000
(2) 特定資産			
周年行事引当資産	2,500,000	3,000,000	-500,000
退職給付引当資産	1,689,683	2,083,709	-394,026
特定資産合計	4,189,683	5,083,709	-894,026
(3) その他の固定資産			
什器備品	2	2	0
電話加入権	299,838	299,838	0
敷金・保証金	1,850,000	1,850,000	0
その他の固定資産合計	2,149,840	2,149,840	0
固定資産合計	19,339,523	17,233,549	2,105,974
資産合計	55,704,688	50,700,784	5,003,904
II. 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	520,766	430,151	90,615
前受金	0	27,000	-27,000
未払法人税等	71,000	71,000	0
流動負債合計	591,766	528,151	63,615
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,689,683	2,083,709	-394,026
固定負債合計	1,689,683	2,083,709	-394,026
負債合計	2,281,449	2,611,860	-330,411
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産	53,423,239	48,088,924	5,334,315
(うち基本財産への充当額)	(13,000,000)	(10,000,000)	(3,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(2,500,000)	(3,000,000)	(-500,000)
正味財産合計	53,423,239	48,088,924	5,334,315
負債・正味財産合計	55,704,688	50,700,784	5,003,904

④ 財産目録

(令和4年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	
Ⅰ. 資産の部		
1. 流動資産		
現金	192,847	
普通預金	32,679,603	
三菱UFJ銀行滝子支店	14,810,915	
三菱UFJ銀行滝子支店	3,590,114	
名古屋銀行桜山支店	2,678,548	
愛知銀行桜山支店	374,450	
岡崎信用金庫滝子支店	382,560	
瀬戸信用金庫恵方支店	339,592	
ゆうちょ銀行	1,000,911	
愛知銀行桜山支店他(支部・部会)	9,502,513	
振替貯金	182,398	
定期預金	3,310,317	
三菱UFJ銀行滝子支店	1,000,000	
岡崎信用金庫滝子支店	1,310,317	
ゆうちょ銀行	1,000,000	
流動資産合計		36,365,165
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
三菱UFJ銀行滝子支店	5,000,000	
名古屋銀行桜山支店	5,000,000	
岡崎信用金庫滝子支店	1,000,000	
ゆうちょ銀行	2,000,000	
基本財産合計	13,000,000	
(2) 特定資産		
周年行事引当資産	2,500,000	
名古屋銀行桜山支店	2,000,000	
ゆうちょ銀行	500,000	
退職給付引当資産	1,689,683	
三菱UFJ銀行滝子支店	1,000,000	
岡崎信用金庫滝子支店	689,683	
特定資産合計	4,189,683	
(3) その他の固定資産		
什器備品	2	
電話加入権	299,838	
敷金・保証金	1,850,000	
その他の固定資産合計	2,149,840	
固定資産合計		19,339,523
資産合計		55,704,688
Ⅱ. 負債の部		
1. 流動負債		
預り金	520,766	
源泉所得税	102,530	
地方税	206,400	
雇用保険	39,703	
健康保険	64,163	
厚生年金	107,970	
未払法人税等	71,000	
流動負債合計		591,766
2. 固定負債		
退職給付引当金	1,689,683	
固定負債合計		1,689,683
負債合計		2,281,449
正味財産合計		53,423,239

⑤ 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

定率法で減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、職員の退職給付に備えるため、当期末の自己都合要支給額から中退共支払予定額を控除した金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の明細、増減及びその残高 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	3,000,000	0	13,000,000
小計	10,000,000	3,000,000	0	13,000,000
特定資産				
周年行事引当資産	3,000,000	500,000	1,000,000	2,500,000
退職給付引当資産	2,083,709	0	394,026	1,689,683
小計	5,083,709	0	1,394,026	4,189,683
合計	15,083,709	3,500,000	1,394,026	17,189,683

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	13,000,000	(0)	(13,000,000)	(0)
小計	13,000,000	(0)	(13,000,000)	(0)
特定資産				
周年行事引当資産	2,500,000	(0)	(2,500,000)	(0)
退職給付引当資産	1,689,683	(0)	(0)	(1,689,683)
小計	4,189,683	(0)	(2,500,000)	(1,689,683)
合計	17,189,683	(0)	(15,500,000)	(1,689,683)

4. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,083,709	0	394,026	0	1,689,683

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

資 産 の 種 類	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,539,025	1,539,023	2
合 計	1,539,025	1,539,023	2

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
全法連助成金	公益財団法人 全国法人会総連合	0	18,843,900	18,843,900	0	-
全法連補助金	公益財団法人 全国法人会総連合	0	346,000	346,000	0	-
愛知県連補助金	一般社団法人愛知 県法人会連合会	0	1,482,895	1,482,895	0	-

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
事業費計上による振替額	18,843,900
合 計	18,843,900

8. 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

基本財産及び特定資産の明細については、上記の財務諸表に対する注記に記載をしているため、附属明細書への記載を省略する。

監査報告書

公益社団法人 昭和法人会

会 長 伊 藤 敏 宏 殿

令和4年4月14日

公益社団法人 昭 和 法 人 会

監 事 穂 川 泰 男 ⑩

監 事 細 野 浩 之 ⑩

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び事務局等とその意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び事務局等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿、又は、これに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為、又は、法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

第2号議案

役員補充選任案承認の件

理事候補者名簿

(敬称略)

法 人 名	氏 名
昭 和 土 木 (株)	神 野 直 志

報告事項（1）令和3年度事業報告

事業報告（自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日）

当会は、昭和25年4月1日に任意団体として創立されて以来、昭和55年6月の社団法人化、平成25年4月の一般社団法人への移行を経て、令和4年4月1日、かねてからの懸案事項であった公益社団法人としての認可を受け、法人会としては全国で387番目、愛知県下の法人会では15番目の新生「公益社団法人昭和法人会」として生まれ変わりました。

これまで70有余年の歩みの中で、「税のオピニオンリーダーとして、企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する」という法人会の理念に基づき、税知識の普及並びに納税意識の高揚を目的とした税制・税務研修事業を始め、特に近年は公益性の高い事業推進を念頭に置き、地域社会に貢献する各種の事業に多くの企業・市民の参加をいただき、事業展開を図ってまいりました。

しかし、本年度の事業活動は、全世界を震撼させている新型コロナウイルス感染症の拡大防止策の中にあって、事業への参加者の健康と安全を最優先に、会員の皆様にいち早く的確な情報の提供を心掛け、計画した事業活動に積極的に取り組んでまいりました。一部の事業においては、残念ながら新型コロナの影響を鑑み中止した事業もございましたが、その際も代替する事業を模索実施する中で各種事業活動を実施してまいりました。

令和3年度の重点事業等の実施状況は次のとおりです。

1 税知識の普及を目的とする事業、納税意識の高揚を目的とする事業、税制及び税務に関する調査並びに提言に関する事業

税知識の普及・納税意識の高揚を目的とした税務研修会では、昭和税務署・国税局等から税務署長・副署長・法人課税第一統括官等多数の担当官を講師として依頼し、税務に関する知識の習得、コンプライアンスの向上策等の幅広い分野をテーマに講演会や研修会を開催し、それぞれ多くの出席者を得て実施しました。

具体的には、毎年実施している「税制改正説明会」、法人税法の基礎知識の習得を目的とした「やさしい法人税セミナー」のほか新たに「年末調整等研修会」「消費税インボイス研修会」にも取り組み一部には開催時期を変更したものも実施することができました。

しかし、残念ながら新入社員・新任実務担当者を対象とする「初任者税務研修会」は中止とし、法人税申告時期に合わせ申告に関する注意点等を周知した「決算期別説明会」、新たに会社を起業した方を対象とした「新設法人説明会」においては、一部において開催を中止し、希望者への資料送付という形での実施となりました。

また租税教育の分野では、青年部会の中心的事業となった「租税教室」は7年目となりました。青年部会の役員を講師として本年も対応いたしました。学習指導要領の変更やコロナの影響により実施希望校の減少により、本年度は計2校5コマ139人

を対象に実施しました。また、女性部会では、「第6回税に関する絵はがきコンクール」に取り組み、応募総数は248作品と大幅に増加し、少しずつ学校側にも浸透していると手応えを感じることから、今後とも全国代の事業として継続して実施することを確認しています。

その他、納税意識の高揚を図る目的で、昭和・天白区及び愛知ブロック2市1町の計5ヵ所で毎年開催されている地域まつり等については、コロナ禍の影響により本年度も引続き中止となったことから、これら地域まつり等の代替事業として、前年に続き租税教育の推進及び地域社会貢献の観点から、管内の公立図書館6館（鶴舞中央図書館、瑞穂図書館、天白図書館、東郷町立図書館、日進市立図書館、長久手中央図書館）に対し、税及び経営に関する書籍や絵本・児童書を寄贈することとし、合計465冊、総額105万5千円相当の図書を選定購入し、各図書館に常置し広く地域住民に活用していただくこととしました。このことは、新聞報道でも大きく取り上げられコロナ禍で貸出し図書の希望が多く図書館側からも感謝の意が伝えられました。

このほか、毎年関係協力団体とともに大手スーパーで実施している街頭広報・税の作品の合同表彰式・税金クイズ大会は実施できませんでしたが、管内小学校の6年生向けに租税教育の補助教材として「税に関するマンガ本」の配付や、夏休みに募集活動を行った税に関する作品の入賞者には各学校に伺い表彰状を授与しました。

さらに、所得税等の確定申告時期には、青年部会が中心となり申告期限周知などを目的とする広報車による街頭広報を実施しました。

2 地域の健全な発展に資する経済や経営に関する講演会の開催並びに地域社会の健全な発展を図るための事業

地域企業の経営者等を対象とした講演会では、毎年実施していた総会記念講演会はコロナ禍により中止としました。また、恒例の名古屋市内9法人会合同講演会についても、市内法人会の協議により大規模となる合同講演会は中止としました。

しかし、少しでも情報発信できる機会は作りたいと考え、市内合同講演会の代替として昭和、名古屋東、千種、中川法人会の4会が合同で講師に経済評論家の門倉貴史氏をお迎えして令和4年2月に経営講演会を実施したほか、名古屋市内ブロック連絡協議会として作家の門田隆将氏をお招きして令和3年10月に経営講演会を開催することができました。しかし、愛知ブロックにおいては三方よしの岩根順子氏の講演会を企画しましたが、あいにくまん延防止等重点措置の発令と重なったためやおななく中止いたしました。

一方で、毎年恒例となり実施希望の多い女性部会主催の社会貢献事業「講演会&演奏会」及び「支部合同狂言公演会」は、昨年度は中止いたしました。本年度はなんとか開催にこぎつけることができ、感染防止策をしっかりと施す中で多くの参加者に参加いただき開催することができました。

さらに、本年度は青年部会が創設40周年の節目の年を迎えたことから、青年部会の役員も「周年記念行事」の実施の可否について議論を重ね、令和4年2月に記念式典を実施するとともにプロゴルファーの芹沢信雄氏を講師にお迎えし記念講演会を

実施いたしました。記念講演会では、講演会の後、スイング診断や抽選会等も企画され青年部会のパワーを肌を感じる盛り上がった記念行事となりました。

その他、大規模法人部会を対象とした名古屋国税局長 白杵芳樹氏や同調査部長 四井清裕氏を講師に講演会をそれぞれ開催することができました。

なお、本年度で40回目となった「初級簿記講座」は、開催時期を変更し実施し継続開催することが出来ました。

3 福利厚生事業の推進

経営者と従業員の保障・健康管理等を支援するため、法人会加入のスケールメリットを生かした割引制度など、団体扱いの各種保障制度、人間ドック、各種福利厚生制度の紹介などPRを行い、会員企業の福利厚生をサポートしてきました。

中でも、大同生命保険・AIG損害保険・アフラックを受託会社とする経営者大型総合保障制度の推進については、新たに本年度から「想いをつないで50年『会員企業を守りたい』キャンペーン」を立ち上げ、大幅な保険料収入増の確保に向け紹介活動を含め支援を行っています。その他経営者向けの中小企業共済や取引信用保険の紹介も行っています。保険各社の担当者も、コロナ禍により訪問活動がままならず苦勞しながらの推進活動となりました。

また、会員向けサービスとして、「インターネットセミナー」の無料視聴サービスや「企業情報・格付情報照会サービス」の割引利用の紹介など、法人会のスケールメリットにより会員の皆様が直接加入メリットを享受できる活動も推進しています。

4 会員増強推進事業の実施

近年の厳しい経済環境等により廃業等による会員減少に歯止めがかからない状況が続いています。当会では、毎年10月～11月を会員増強月間と定め、会員等管理データをもとに、「新設法人」「転入法人」「設立後5年経過法人」を対象として郵送による加入勧奨を実施しましたが、「支部役員1人1社加入」を目標に置いたものの、支部役員及び保険会社推進員ともにコロナ禍により訪問面接活動を自粛せざるを得ず、退会希望もあることから会員増強においては厳しい状況が続いています。

5 公益社団化に向けて

当会は、公益法人制度改革の折、平成25年4月から一般社団法人を選択して事業活動を展開してまいりましたが、その後体制整備や事業活動の見直し等を経て公益法人への要件が具備できたことから、第9回通常総会において会員の皆様のご承認をいただき、公益社団法人への認定申請を愛知県に行いました。

そして、令和4年4月1日付でその認可をいただき新生「公益社団法人昭和法人会」に改組し生まれ変わりました。

以上、令和3年度に実施した本会・支部・部会等の会議並びに事業等の活動状況は、次ページ以降の附属明細書のとおりです。

事業報告の附属明細書 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

I 会議関係

行 事 名	開催年月日	内 容	出席者(名)
1 第9回通常総会	R3. 6. 10	令和2年度決算報告承認の件 定款の改正案承認の件 定款第7条に定める会費規程改正案承認の件 役員選任案承認の件 公益財団法人へ認定申請の件 公益財団法人昭和法人会定款等承認の件 公益認定申請に伴う手続き承認の件 報告事項：令和2年度事業報告 ：令和3年度事業計画並びに収支予算	48
2 正副会長会	R3. 4. 19	理事(監事)会への提出議案について 役員選任(案)と副会長・常任理事・専務理事の選任(案)について 退任役員等に対する感謝状の贈呈について 簡易保険払込団体扱い収支決算書について 第9回通常総会における会長・副会長の役割分担について 総会記念品の配付・贈呈について	8
	R3. 8. 4	理事(監事)会への提出議題について 公益社団化に向けて 令和3年度事業計画について 全法連第37回全国大会(岩手大会)への役員派遣について	8
	R3. 9. 27	常任理事(監事)会提出議題について 全法連第37回全国大会(岩手大会)への役員派遣について 愛知県連運営研究会について	8
	R3. 11. 16	役員総集会等進行内容の確認及び議事承認	8
	R4. 2. 14	令和4年度の執行体制について 令和4年度の正副会長の業務分担について 公益社団化第1回通常総会に伴う諸行事について	8
	R4. 3. 23	理事(監事)会への提出議題について 来季の正副会長に関する執行体制について 代表理事について	8
	R3. 9. 27	令和3年度事業の進捗状況について 令和3年度組織増強月間の取組みについて 常任理事会社に「法人会キャラクターと入会申込書」等設置について 会費未納者に対する会費回収(個別訪問)について	34
3 常任理事会	R3. 9. 27	令和3年度事業の進捗状況について 令和3年度組織増強月間の取組みについて 常任理事会社に「法人会キャラクターと入会申込書」等設置について 会費未納者に対する会費回収(個別訪問)について	34
4 理事会	R3. 4. 19	第9回通常総会に提案する議題 基本財産積み増しについて 令和3年度委員会の体制について 会員増強に顕著な事績者に対する感謝状贈呈 福利厚生事業等の推進について	58

行事名	開催年月日	内 容	出席者(名)
	R3. 8. 4	昭和税務署幹部職員の人事異動に伴う新体制について 公益社団法人への申請について 令和3年度の事業計画の変更について 福利厚生事業等の推進について	45
	R4. 2. 14	公益社団法人第1回通常総会の招集に当たり事前に決定すべき事項 公益社団法人第1回通常総会の招集・開催について 基本財産の積み増し及び特定資産の組み替え等について 令和3年度決算の見通しについて 令和4年度事業計画(案)について 令和4年度予算(案)について 福利厚生事業等の推進について	38
5 役員総集会 (青年・女性部会含)	R3. 11. 16	本年度の事業実施状況 会員増強の状況	58
6 委員会			
財務委員会	R3. 4. 13	令和2年度の決算について	5
広報委員会	R3. 6. 17	会報誌1月号(第202号)の結果について 会報誌9月号(第203号)の企画編集について	5
広報委員会	R3. 8. 5	「新署長インタビュー」 (昭和税務署署長室)	7
事業委員会	R3. 9. 3 (書面開催)	令和3年度事務実施状況と事業計画 名古屋市4法人会合同講演会について	7
組織委員会兼福利 厚生推進協議会	R3. 9. 27	令和3年度事業の進捗状況について 令和3年度組織増強月間の取組みについて 常任理事会社に「法人会キャラクターと入会申込書」等設置について 会費未納者に対する会費回収(個別訪問)について 法人会の福利厚生制度	34
広報委員会	R3. 10. 19	会報誌第204号(新年号)の発行について 入会勧奨に伴う広報活動ほか	5
総務委員会 兼 財務委員会	R4. 1. 25 (書面開催)	公益法人移行に伴う諸準備について、公益社団法人化に向けて 令和4年度予算編成及び方針について 特定財産の見直しについて	11
事業委員会	R4. 1. 24 (書面開催)	令和4年度事業計画(案)について 総会記念講演講師の選定について	7
組織委員会	R4. 3. 11 (書面開催)	公益社団法人第1回通常総会成立への協力方について	19
税制委員会	R4. 3. 14 (書面開催)	令和5年度税制改正要望事項の取りまとめについて	5

II 税知識の普及を目的とする事業

事業区分	開催年月日	行事名	内 容 (講師・テーマ)	出席者(名)
1 税務・税法研修	R3. 6. 25	税制改正の実務 ポイント研修会	税理士法人名南経営 税理士 安藤教嗣ほか [昭和・名古屋中・千種] (昭和ビル 会議室)	35

事業区分	開催年月日	行事名	内 容（講師・テーマ）	出席者(名)	
2 決算期別説明会	R3. 9. 7 ～6回開催～	やさしい法人税 セミナー	「法人税法の基礎知識」 税理士 小掠 めぐみ 氏 (昭和ビル9階 会議室)	9	
	R3. 10. 20	大規模法人部会 税務研修会	「税務を取巻く環境変化と税務行政」 名古屋国税局 調査部 部長 四井 清裕 氏 「申告書作成のチェックポイント」 名古屋国税局 調査審理課長 小山 太郎 氏 (熱田神宮会館)	92	
	R3. 10. 28	瑞穂・昭和区ブロック 税務研修会	「消費税インボイス制度」 昭和税務署 法人課税第一部門 統括国税調査官 松永 潔 氏 (熱田神宮会館)	97	
	R3. 11. 24	税務研修会	令和3年度「年末調整の実務のポイント&消費税(インボイス)」 昭和税務署 担当官 3名 (名古屋市公会堂)	70	
	R3. 5. 24	決算期別説明会(中止)	コロナ禍により中止(希望者には資料を送付した)	(43)	
	R3. 8. 25	決算期別説明会	決算申告実務上のポイント 昭和税務署 原田審理専門官	15	
	R3. 11. 25	決算期別説明会	〃 昭和税務署 渡辺上席国税調査官	8	
	R4. 2. 21	決算期別説明会(中止)	コロナ禍により中止(希望者には資料を送付した)	(52)	
	3 新設法人説明会	R3. 9.	新設法人説明会	「新設法人のための税金ガイドブック」 昭和税務署との共催事業(コロナ禍により中止)	-
		4 講演会等	R3. 10. 5	女性部会 意見交換会	「税務署長を囲む意見交換会」 昭和税務署 署長 岡 直人 氏 (メルパルク名古屋)
R3. 10. 20	大規模法人部会 講演会		「税務を取巻く環境変化と税務行政」 名古屋国税局 調査部 部長 四井 清裕 氏 (熱田神宮会館)	92	
R3. 11. 16	役員総集会 (青年・女性部会 部会員含む)		「Personalと組織理念」 昭和税務署 署長 岡 直人 氏 (メルパルク名古屋)	58	

III 納税意識の高揚を目的とする事業

事業区分	開催年月日	行事名	内 容（講師・テーマ）	出席者(名)
1 地域・イベントにおける租税教育活動	R3. 7～9	税に関する絵はがき コンクール	小学生を対象とした「第6回税に関する絵はがきコンクール」の実施(応募作品点数 248編)	5,705
	R3. 10. 24	昭和区・天白区 区民まつり(中止)	税に関するパネルの展示及びパンフレットの配布 (鶴舞公園、天白公園)	
	R3. 6. 20	管内小学校62校	昭和税務署管内の小学6年生を対象に税に関する マンガ本を配付(管内小学校62校)	
	R3. 11. 09	図書の贈呈式 税の本の特別展示	名古屋市鶴舞中央図書館(瑞穂・天白図書館合同) 「税を考える本」特別展示(税を考える週間期間中)	3
	R3. 11. 10	図書の贈呈式	東郷町立図書館	2

事業区分	開催年月日	行事名	内 容（講師・テーマ）	出席者(名)
2 税の啓発活動	R3. 11. 11	図書の贈呈式	日進市立図書館	2
	R3. 11. 12	図書の贈呈式	長久手市立中央図書館	2
	R3. 11. 14 (中止)	地域産業まつり (東郷町・長久手市)	東郷町文化産業まつり・ながくて市民まつりに参加	-
	R2. 11. 21 (中止)	にっしん市民まつり (日進市)	にっしん市民まつりに参加	-
	R3. 6. 21	租税教室	名古屋市立御劔小学校6年生児童に対する租税教室を青年部会員が講師となって実施	2
	R4. 1. 14	租税教室	名古屋市立植田小学校6年生児童に対する租税教室を青年部会員が講師となって実施	3
	R3. 11. 14 (中止)	税を考える週間	管内スーパー店頭における街頭広報と税に関する 作品合同表彰式税金クイズの実施(イオン八事)	-
R4. 2. 24 ～ 2. 25	所得税 確定申告時期	確申会場の周知、申告書の早期提出、期限内申告納税について、広報車による広報の実施	8	

IV 地域企業の健全な発展に資する事業

事業区分	開催年月日	行事名	内 容（講師・テーマ）	出席者(名)
1 経済・経営講演会	R3. 10. 28	市内ブロック合同講演会	「そのままでは『日本』は減ぶ!!」 作家・ジャーナリスト 門田 隆将 氏 (熱田神宮会館)	97
	R4. 2. 24	市内4法人会合同講演会	「コロナショック後の日本経済の行方と企業経営戦略」 BRICs経済研究所代表 経済評論家 門倉 貴史 氏 〔昭和、名古屋東、千種、中川合同〕(中電ホール)	79
2 地域企業向け実務研修会	R3. 10. 25 ～ 11. 22	初級簿記教室	「初級簿記講習会」 税理士 仙田 浩人 氏 (中小企業振興会館 会議室)	延112

V 地域社会への貢献を目的とする事業

事業区分	開催年月日	行事名	内 容（講師・テーマ）	出席者(名)
1 講演会	R3. 10. 26	講演会 (女性部会主催)	仏教落語「やさしさの波紋」 影現寺 住職 深水弘裕 氏 (メルパーク名古屋)	173
	R3. 10. 28	市内ブロック合同講演会(瑞穂、昭和、天白)	「そのままでは『日本』は減ぶ!!」 作家・ジャーナリスト 門田 隆将 氏 (熱田神宮会館)	97
2 鑑賞会	R3. 8. 28	支部合同 狂言鑑賞会	「野村又三郎一門 狂言鑑賞会」 演目:『狂言 張蛸』『狂言 三人片輪』 (名古屋能楽堂)	210
	R3. 10. 26	演奏会 (女性部会主催)	プレミアムコンサート 「Re-creation 甚目裕夫と新しい仲間達」 ピアニスト 甚目裕夫他 (メルパーク名古屋)	173

VI 支部事業

事業区分	開催年月日	行事名	内 容（講師・テーマ）	出席者(名)
1 鑑賞会	R3. 8. 28	8支部合同鑑賞会 (汐路、田光、津賀田、 円上、北山、萩山、瑞穂ヶ 丘、川名駒方支部)	「野村又三郎一門 狂言鑑賞会」 演目：『狂言 張蛸』『狂言 三人片輪』 (名古屋市能楽堂)	210

VII 青年部会事業

事業区分	開催年月日	行事名	内 容（講師・テーマ）	出席者(名)
1 役員会	R3 年度	役員会	令和3年4月～令和4年3月の間・12回開催 部会並びに県連事業について実施内容を協議	240
2 事業関係	R3. 4. 19	通常総会	第9回通常総会 (メルパルク名古屋)	27
	R3. 6. 5	親睦ゴルフ	親睦ゴルフ大会 (東名古屋カントリークラブ)	21
	R3. 6. 21	租税教室	名古屋市立御剣小学校6年生児童(53名)に対する	2
	R3. 9. 27	税務研修会	「インボイス制度についての概要」 昭和税務署法人課税第一部門統括官 松永 潔氏 (名古屋市公会堂)	24
	R3. 10. 6	租税教室	租税教室講師養成研修 (昭和税務署)	4
	R3. 11. 16	署長講演会	「Personalと組織理念」 昭和税務署 署長 岡 直人 氏 (メルパルク名古屋)	8
	R3. 12. 13	税務研修会	「女性税務職員が感じること」 昭和税務署 筆頭副署長 石川 たき子 氏 (名古屋市公会堂)	22
	R4. 1. 14	租税教室	名古屋市立植田小学校6年生児童(86名)に対する 租税教室を青年部会員が講師となって実施	3
	R4. 2. 4	記念式典・講演会	青年部会 創立40周年記念式典 記念講演会 「ゴルフ人生」 プロゴルファー 芹澤信雄 氏 (メルパルク名古屋)	121
	3 関係団体	R3.11.25～26	全法連行事	全国青年の集い 佐賀大会 (佐賀市文化会館)
R3. 4. 20		愛知県連(書面開催)	青年部会連絡協議会 定時総会	4
R3. 6. 30		同上	青年部会連絡協議会 定時総会・情報交換会	2
R3. 9. 13		同上	青年部会連絡協議会 常任理事会	1
R3. 10. 27		同上	青年部会連絡協議会 情報交換会	3
R4. 3. 25		同上	青年部会連絡協議会 常任理事会	1
R4. 2. 24 ～2. 25	昭和税連協行事	「広報車による確定申告広報活動」	8	

VIII 女性部会事業

事業区分	開催年月日	行事名	内 容（講師・テーマ）	出席者(名)
1 役員会	R3 年度	幹事会	03年4月～04年3月の間・12回開催 部会並びに県連事業について実施内容を協議	80
2 事業関係	R3. 4. 20	通常総会	第9回通常総会 (メルパルク名古屋)	20
	R3. 7. 27	税務研修会	「第6回専務の出前講座」 「直前に迫った消費税インボイス制度のお話」	17

事業区分	開催年月日	行事名	内 容 (講師・テーマ)	出席者(名)
3 関係団体	R3. 7～9	租税教育活動	「第6回絵はがきコンクール」募集活動	18
	R3. 10. 5	意見交換会及び 租税教育	「税務署長を囲む意見交換会」 昭和税務署長 岡 直人 氏 (メルパルク名古屋)	
	R3. 10. 26	租税教育 講演会と演奏会 (女性部社会貢献事業)	「絵はがきコンクール」審査会 (メルパルク名古屋) 講演会 仏教落語「やさしさの波紋」 影現寺 住職 深水弘裕氏	173
	R3. 10. 26	講演会と演奏会	プレミアムコンサート「Re-creation 甚目裕夫と新しい仲間達」 甚目裕夫氏ほか	
	R3. 11. 16	署長講演会	「Personalと組織理念」 昭和税務署長 岡 直人 氏 (メルパルク名古屋)	12
	R4. 1. 18	女性部会 租税研修会	「女性税務職員が感じることpart II」 昭和税務署 副署長 石川 たき子 氏 (ガス燈)	19
	R3. 4. 28	愛知県連(書面開催)	女性部会連絡協議会 定時総会	3
	R3. 9. 6	愛知県連	女性部会連絡協議会 常任理事会	1
	R3. 11.30	同上	女性部会連絡協議会 情報交換会	4
	R3. 11.16	全法連行事	全国女性フォーラム新潟大会	1
	R4. 3. 23	同上	女性部会連絡協議会 常任理事会	1

IX 大規模法人部会事業

事業区分	開催年月日	行事名	内 容 (講師・テーマ)	出席者(名)
1 事業関係	R3. 10. 20	講演会並びに 租税研修会	「税務を取巻く環境変化と税務行政」 名古屋国税局 調査部 部長 四井 清裕 氏 「申告書作成のチェックポイント」 名古屋国税局 調査審理課長 小山 太郎 氏 (熱田神宮会館)	92
	R4. 2. 22	大規模法人 経営者講演会	名古屋国税局長講演会 「税務行政の現状と課題」 ～新型コロナウイルス対応・デジタルトランス フォーメーション・酒類業振興～ 名古屋国税局長 白杵芳樹 氏 (名古屋マリオットアソシアホテル)	13

X 広報誌・連合会事業

事業区分	開催年月日	行事名	内 容 (講師・テーマ)	出席者(名)
1 広報関係	R3. 9. 10	広報誌発行	会報誌 昭和法人会 第203号 (発行:3,156部)	
	R4. 1. 20	広報誌発行	会報誌 昭和法人会 第204号 (発行:3,132部)	
2 愛知県連	R3. 6. 18	通常総会	第9回愛知県法人会連合会通常総会 (名鉄ニューグランドホテル)	10
	R3. 12. 1	運営研究会	愛知県法人会運営研究会 (ホテルキャッスルプラザ)	5
	R3. 12. 17	研修会	愛知県下法人会事務局役職員研修会 (大同生命ビル)	2
3 東海法連	R3. 9. 10 (書面開催)	東海法連定時総会	第33回東海法人会連合会定時総会 (名鉄グランドホテル)	2

事業区分	開催年月日	行事名	内 容（講師・テーマ）	出席者(名)
4 全法連	R4. 3. 3	東海法連大会	第76回東海法人会連合会大会（岐阜グランドホテル）	2
	R3. 10. 17	全国大会	第37回法人会 全国大会 岩手大会(Web方式)	1
	R4. 2. 15	税制セミナー	令和4年度税制改正について（Web方式）	1
	R4. 3. 4	全国事務局セミナー	法人会における消費税インボイス制度 定期提出書類の作成と助成金制度について （Web方式）	1
5 税連協関係	R3. 5. 11	定時総会	令和3年度事業報告・収支決算報告及び 令和3年度事業計画案・予算案等の審議	4
	R3. 5. 11	定例会	各会の行事予定	
	R3. 7. 19	定例会	行事日程、税を考える週間行事計画について	4
	R3. 10. 4	定例会	「税を考える週間」行事について協議 税に関する作品の応募状況	3
	R3. 11. 14	街頭宣伝活動 表彰式(中止)	スーパー店頭において税に関するパンフレットを配布 税金クイズ等	-
	R4. 1. 12	定例会	各会の行事予定 「税を考える週間」行事結果について 「確定申告期の広報活動」について	3
	R4. 2. 17 ～ 2. 25	確定申告期 街広報活動	早期提出・e-TAX推進街宣伝報 管内全域(6日間)	8

報告事項（２）令和４年度事業計画

事業計画書（自 令和４年４月１日 至 令和５年３月３１日）

Ⅰ 活動の基本方針

昭和法人会は、「税のオピニオンリーダーとして、企業の発展を支援し、地域の振興に寄与するとともに国と社会の繁栄に貢献する」という法人会の理念に則り、よき経営者を目指すものの団体として、また、健全な納税者の団体としての公益性を認識し、税知識の普及と納税意識の高揚を目的とした税制・税務研修事業を始め、企業経営と社会の健全な発展に寄与するため、社会の変化に対応する各種事業活動を推進し、会員のニーズにあった事業の実施に努める。

1 税知識の普及を目的とする事業

国税及び地方税に係る官公署等との連絡協調のもと、健全な納税者団体として税に関する研修会や講演会などを通じて「税知識の普及」に努めることで、税務行政の円滑な執行に寄与し、もって国政の健全な運営の確保に資することを目的とする事業を行う。

具体的には、各研修会等では税知識の普及のため税に関するパンフレットや書籍を適宜配布し、また、当会の広報誌では、税知識の普及を目的とする事業に付随して、税に関する情報を適宜掲載し、情報発信を行う。

2 納税意識の高揚を目的とする事業

当会は、健全な納税者団体として税金の仕組みや税の使われ方を教育する租税教育活動を通じて納税意識の高揚に努めることで、税務行政の円滑な執行に寄与し、もって国政の健全な運営の確保に資することを目的とする事業を行う。

当会の広報誌では、納税意識の高揚を目的とする事業に付随して、各事業の活動報告などを適宜掲載し、情報発信を行う。また、公益財団法人全国法人会総連合が主催し、傘下の各都道府県法人会連合会が持ち回りで主管として開催する「全国青年の集い」や「全国女性フォーラム」など関連団体が主催する発表会等に参加し、全国の租税教育活動などについて、創意工夫に富んだ発表事例を研究し、当会の租税教育活動の企画・運営に活かす。

3 税制改正に関する提言

公益財団法人全国法人会総連合においては、毎年、全国の法人企業及び個人の活力を生むような税制を始め、租税負担の合理化・簡素化及び適正公平な課税などの提言を行うため、全国の各法人会から税制及び税務に関する提言を取りまとめて提言書を決議し、法人会全国大会で発表後、関係機関等に対し提言活動を行う。

税制及び税務に関する提言は、すべての法人企業及び個人に関連した内容となっており、税務行政の円滑な執行に寄与し、もって国政の健全な運営の確保に資すること

を目的とする事業を行う。

4 地域企業の健全な発展に資する事業

当会が存する昭和税務署管内を中心とした地域経済の活性化を図るためには、その地域に存する地域企業の健全な発展が必要不可欠といえる。そのため、当会が事業活動を行うことによって地域企業の健全な発展を促し、納税や雇用機会を確保することで、地域社会の不特定多数の者の利益の増進に寄与することを目的とする。

5 地域社会への貢献を目的とする事業

当会が存する昭和税務署管内を中心とした地域企業や地域住民を対象として、健康、文化・芸術等に関する講演会・研修会や鑑賞会等の企画・開催を行うことにより、これらの機会の提供を通じて、地域社会の健全な発展を目的とする事業を行う。

また、地域企業の健全な発展に資する事業に付随して、公益財団法人全国法人会総連合が主催する「全国青年の集い」や「全国女性フォーラム」などの関連団体の発表会・研修会等に参加し、全国の地域社会貢献活動などについて創意工夫に富んだ発表事例を研究し、当会の地域社会貢献活動の企画・運営に活かす。

6 会員の福利厚生等に資する事業

会員の福利厚生等に資する事業として、法人会への加入メリット・スケールメリットを会員が享受できるサービス・情報の提供を行う。

中でも、経営者大型保障制度やガン保険を中心とする保険事業の推進については、財政基盤の確立を図る上からも取扱会社との連携を強化し、取扱い企業の加入率の向上と目標達成に努める。

さらに、健康増進事業として、会員企業の役員及び従業員等の健康増進・保守を目的として、人間ドック・健康診断等の斡旋を行う。

また、広告事業として、当会が発行する広報誌に、会員企業の紹介及び福利厚生制度の案内や周知を目的として、会員企業・保険会社からの広告掲載を行う。

7 会員の交流に資するための事業

会員支援のための親睦交流を目的に、会員間の情報交換や会員相互の親睦を行うほか、会員を対象とした観劇等の催し物や法人企業の業務に関係のない趣味・娯楽・スポーツ・レクリエーション等の事業を行う。

II 主要行事計画

1 税知識の普及を目的とする事業

(1) 初任者に対する税務研修会

昭和税務署管内の法人企業で、源泉所得税や社会保険の取扱い等に不慣れな新規採用者及び新規に経理担当等に従事した初任者を対象とした税務研修会を開催する。

対象者 : 昭和税務署管内の法人企業の新規採用者及び経理担当の初任者等を対象。参加者は会員に限定しない。

講師 : 昭和税務署の担当官及び社会保険労務士など

開催予定時期 : 令和4年6月

(2) 税制改正に関する税務研修会

昭和税務署管内の法人企業で、役員や経理担当者等を対象とした毎年改正される税制改正等を解説する税務研修会を開催する。

対象者 : 昭和税務署管内の法人企業の役員や経理担当者等を対象。参加者は会員に限定しない。

講師 : 税理士ほか

主催 : 当会及び名古屋市内の他の法人会との共同開催

開催予定時期 : 令和4年6月

(3) 決算期別説明会

昭和税務署管内の法人企業で、各法人企業の決算期に合わせ、申告実務における留意事項等を開説する税務研修会を開催する。

対象者 : 昭和税務署管内の法人企業で、決算期ごとにグループに分け、経理担当者等申告実務に携わる担当者を対象。参加者は会員に限定しない。

実施時期 : 決算期別の参加状況を考慮し、1年に数回開催する。

講師 : 昭和税務署の担当官ほか

開催時期 : 令和4年5月以降、3ヶ月ごとに開催

(4) やさしい法人税セミナー

昭和税務署管内の法人企業で、法人税の基礎知識の習得を目的に担当者の育成を図るための税務研修会を開催する。

対象者 : 昭和税務署管内の法人企業で、法人税申告書に携わっている者又はこれから携わる者等、企業内で法人税の知識の習得を必要とする者等を対象。参加者は会員に限定しない。

講師 : 法人税法に精通した税理士等に依頼

主催 : 当会及び名古屋市内の他の法人会との共同開催

開催予定時期 : 令和4年9月～10月

(5) 新設法人説明会

昭和税務署管内で新たに法人を設立した企業に対し、法人税や消費税等税法の取扱いや、企業としての申告や届出の義務等を解説する税務研修会を開催する。

対象者：概ね前1年間程度の間、昭和税務署管内で法人を設立した企業を対象。参加者は会員に限定しない。

講師：昭和税務署の担当官ほか

主催：当会と昭和税務署との共同開催

開催予定時期：令和4年6月

(6) 大規模法人 税務研修会・講演会

大規模法人（資本金等1億円以上）を対象に、大規模法人であるがゆえに税務申告等において留意すべき等をテーマとして取り上げた税務研修会・講演会を開催する。

対象者：昭和税務署管内の資本金・出資金の額が1億円以上の法人企業を対象。参加者は会員に限定しない。

講師：名古屋国税局調査部の担当官ほか

主催：当会と愛知県下の他の法人会と共同開催

開催予定時期：令和4年10月

(7) 税務署長及び税務署の担当官による講演会・研修会

税務署長や税務署の担当官の講演や講義を受けることにより、税務行政の運営上の諸課題や広く知らしめる事項等を、税務執行当局の担当者から直接受講できる機会を提供し、税知識の普及と税務行政への協力を行う税務講演会・研修会を開催する。

対象者：昭和税務署管内の法人企業の役員や経理担当者等を対象。参加者は会員に限定しない。

講師：昭和税務署長もしくは昭和税務署の担当官ほか

開催予定時期：税務署長講演会は令和4年11月

(8) 税務・経営セミナー

年末調整など時宜を捉えた会社経営に密接に絡むテーマに関する研修会を、会員企業のほか一般参加者も募り、必要な知識の習得と普及に努めるためのセミナーを開催する。

対象者：昭和税務署管内の法人企業の役員や経理担当者等を対象。参加者は会員に限定しない。

講師：昭和税務署の担当官のほか、研修テーマに応じ専門的知識を有する税理士等

開催予定時期：年末調整等研修会は令和4年11月

(9) 青年部会及び女性部会税務研修会

当会の内部組織である青年部会及び女性部会が、税に関する知識を深めるために企画・運営し、当会で購入した税に関する冊子等を利用し、税に関する研修会を開催する。

対象者：昭和税務署管内の法人企業の役員や経理担当者等を対象。参加者は会員に限定しない。

講師：昭和税務署の担当官の(1)ほか、研修テーマに応じ専門的知識

を有する税理士等

2 納税意識の高揚を目的とする事業

(1) 「税を考える週間」の街頭広報

国税庁では、毎年11月11日から17日までの期間を「税を考える週間」と定め、国民に対して税に関する理解を一層深めるとともに、税の仕組みや税の使われ方やその必要性などについて主体的に考える契機として、全国的な税に関する広報活動を実施しており、当会も、これらの機会に税に関するパンフレット等の配布等税知識の普及活動を実施している。

(2) 所得税・消費税の確定申告期における広報車による街頭広報

毎年、2月～3月にかけて行われる所得税・消費税の確定申告期に合わせ、確定申告会場の周知、確定申告の早期提出、期限内申告及び期限内納税について広報車により昭和税務署管内一円（名古屋市内3区、日進市、長久手市、東郷町）において街頭広報を実施している。

(3) 地域イベントにおける租税教育活動

昭和税務署管内で開催される「区民まつり」「市民まつり」等の地域イベントに際して、ブースを設け次世代を担う子供たちを主な対象として、税に関するパネル展示と税に関するパンフレットの配布等を行っている。

(4) 租税教育活動

次代を担う児童・生徒や地域住民等に対し、税の意義や役割、重要性について正しく理解してもらうために、租税教育活動を行う。

① 租税教室

次代を担う児童・生徒に対し、租税の意義や役割を正しく理解し、社会の構成員として税金を納め、その使い方に関心を持つ等健全な納税者意識を養うことを目的として、昭和税務署管内の小・中学校に対し、昭和税務署と協議し、税務署で研修を受けた租税教室の講師を小・中学校に派遣し、DVD等を使用し租税教室を実施する。

② 「税の絵はがきコンクール」の実施

税に関する絵はがきを書くことで、楽しみながら納税意識の高揚を図り、適正・公平な申告納税制度の維持・発展と税務行政の円滑な執行に寄与するため実施する。

③ 租税教育用副教材の配付

小学校における租税教育の一助としてもらうため、その副教材及び文具を管内小学校に配付する。

④ 児童・生徒及び地域住民を対象とした租税教育活動

児童・生徒及び地域住民に、租税の重要性の理解を図るため、昭和税務署管内の公立図書館に税や経営等に関する図書を常置してもらい、その図書を利用してもらうこと等により広く租税教育活動の推進を図る。

3 税制及び税務に関する調査並びに提言に関する事業

当会会員を中心にアンケート調査を行い、税制及び税務に関する提言を取りまと

め、一般社団法人愛知県法人会連合会を通じて公益財団法人全国法人会総連合に上申していく。

4 地域企業の健全な発展に資する事業

(1) 経済・経営講演会

地域経済の中核を担う地域企業の健全な発展を図るためには、常に国内外の経済情勢の動向に注意を怠らないで、その変化に対応する適切な施策を検討することが肝要となる。当会では、主としてこのような地域企業の経営者等に対して経済・経営・時事問題の精通者を招き、経済・経営講演会の機会を提供する。

対象者：昭和税務署管内の法人企業を対象とし、会員に限定しない。

実施計画のある事業

- ① 総会記念講演会
- ② 女性部会主催講演会
- ③ 名古屋市内法人会との合同講演会

(2) 地域企業向け実務研修会

地域企業の役員や従業員を主な対象として、簿記講習会等の実務研修会を行う。

対象者：昭和税務署管内の法人企業の従業員等を対象とし、会員に限定しない。

実施計画のある事業

- 第41回初級簿記講習会

(3) 企業施設見学会

地域企業が、自らの企業経営に有益な企業やその工場又は施設を見学する場を提供することで、地域企業の健全な発展、ひいては地域経済の活性化に資することを目的として企業施設見学会を行う。

対象者：昭和税務署管内の法人企業を対象とし、会員に限定しない。

(4) インターネットを利用した情報提供

セミナーオンデマンドのコンテンツを配信する業者と契約し、当会ホームページを通じて会員向けに、各種講演会や研修講座の無料配信サービスを行う。

5 地域社会への貢献を目的とする事業

(1) 健康、文化及び芸術等に関する講演会及び研修会

当会会員を含む地域企業や地域住民を対象として、健康、文化や芸術等に関する講演会や研修会を企画・運営し、講演や研修の機会を提供することを通じて、地域社会への貢献を目的とする。

対象者：昭和税務署管内の地域住民

実施計画のある事業

- ① 市内ブロック合同研修・講演会
- ② 愛知ブロック研修・講演会
- ③ 女性部会主催講演会

(2) 文化・芸術等に関する鑑賞会

当会会員を含む地域企業や地域住民を対象として、音楽鑑賞会、狂言鑑賞会などの文化・芸術等に関する鑑賞会を企画・運営し、鑑賞の機会を提供することを

通じて、地域社会への貢献を目的とする。

対象者：昭和税務署管内の地域住民
実施計画のある事業

- ① 支部合同狂言鑑賞会
- ② 女性部会主催演奏会

6 会員の福利厚生に資する事業

(1) 保険事業

団体加入による優遇制度を利用した当会会員企業・経営者等への経営者大型総合保障制度やガン保険制度への加入を推進している。

保険事業は、公益財団法人全国法人会総連合、一般社団法人愛知県法人会連合会が提供保険会社と連携し行う。

協力関係にある保険会社等

- ① 大同生命保険（経営者大型総合保障制度）
- ② A I G 損害保険（経営者大型保障制度、総合事業者保険等）
- ③ アフラック生命（ガン保険、W A Y S、E V E R 等）
- ④ 三井住友海上火災保険（貸倒保証制度）
- ⑤ 愛知県中小企業共済（生命傷害共済、経営者医療共済等）

(2) 健康増進事業

当会会員企業の役員及び従業員等の健康増進・保守を目的として、人間ドック・生活習慣病予防検診等の斡旋を行う。

協力関係にある検査機関等

- ・一般財団法人愛知健康増進財団
- ・名古屋臨床検査センター
- ・一般財団法人全日本労働福祉協会東海支部

(3) 広告事業

当会が発行している広報誌に、会員企業の紹介及び福利厚生制度の案内や周知を目的として、会員企業・保険会社からの広告掲載を行う。

(4) 法人会加入のスケールメリットを生かした事業

- ① 会員企業の余暇支援として福利厚生制度のサポート
- ② 高速料金の割引制度として ETC 利用の最適化支援サービス
- ③ 取引先・調達先の企業信用情報調査としての企業情報・格付情報照会サービス

7 会員の交流に資するための事業

会員支援のための親睦交流を目的に、次のような事業を行う。

- ① 役員研修会
- ② 日帰り研修・見学会
- ③ 役員懇親会・懇談会
- ④ ボウリング大会
- ⑤ 見学鑑賞会

報告事項（3）令和4年度収支予算

収支予算書

（損益計算ベース）

（自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日）

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	備 考
1 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 基本財産運用益	221	849	
基本財産受取利息	221	849	
特定資産運用益	77	595	
特定資産受取利息	77	595	
受取会費	29,775,000	31,275,000	
正会員受取会費	29,500,000	31,000,000	
賛助会員受取会費	275,000	275,000	
事業収益	6,254,500	6,447,500	
研修事業収益	817,500	847,500	講演会参加料、簿記教室テキスト代
広告事業収益	600,000	600,000	広報誌広告掲載料
福利厚生事業収益	445,000	470,000	健診委託手数料
会員親睦事業収益	4,100,000	4,100,000	会員交流参加費
簡易保険取扱事業収益	292,000	430,000	簡易保険受取手数料138千円減
受取補助金等	20,392,900	21,049,900	前年対比657千円減
受取全法連助成金	18,814,900	18,843,900	
受取全法連補助金	350,000	250,000	
受取県連補助金	1,228,000	1,956,000	
受取負担金	1,500,000	1,500,000	
受取部会負担金	1,500,000	1,500,000	部会年会費
雑収益	1,087,583	980,480	
受取利息	183	80	
雑収益	1,087,400	980,400	折込料等
経常収益計	59,010,281	61,254,324	前年対比2,244千円減
(2) 経常費用			
事業費	47,161,981	49,351,708	前年対比2,189千円減
役員報酬	4,506,000	4,506,000	常勤役員分
給料手当	9,913,200	9,763,000	事務局職員分
中退共済掛金	540,720	540,720	
福利厚生費	2,489,565	2,398,694	
会議費	7,735,172	8,941,066	総会及び研修見学会費用等
旅費交通費	2,934,849	3,401,849	全法連行事参加費、支部研修見学会等
通信運搬費	2,009,523	2,188,474	催事案内等
消耗品費	1,598,670	1,769,790	税の啓発活動景品等費用
印刷製本費	4,615,281	4,801,888	広報誌発行費用
光熱水料費	253,087	258,344	
賃借料	2,253,000	2,253,000	事務所賃借料
保険料	10,000	10,000	
諸謝金	3,344,000	3,322,000	研修会、講演会等講師料
支払負担金	446,000	446,000	県連、税連協負担金
委託費	455,300	455,300	
会場費	2,243,000	2,270,000	研修会、講演会等会場費用
広告宣伝費	48,600	48,600	
表彰費	140,000	150,000	会員増強褒賞金
リース料	699,016	795,174	コピー機・電話等リース料
支払手数料	747,345	832,156	振替・振込手数料等
新聞図書費	34,870	34,870	
雑費	144,783	164,783	

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	備 考
管理費	11,677,431	11,702,144	前年対比24千円減
役員報酬	1,494,000	1,494,000	常勤役員分
給料手当	3,286,800	3,237,000	事務局職員分
中退共済掛金	179,280	179,280	
福利厚生費	825,435	795,306	
会議費	1,518,428	1,488,934	総会及び本会・支部・部会会議費用
旅費交通費	154,151	154,151	
通信運搬費	639,477	544,526	
消耗品費	185,330	222,210	
印刷製本費	1,488,719	1,478,112	広報誌、封筒、コピー費用等
光熱水道費	83,913	85,656	
賃借料	747,000	747,000	事務所賃借料
支払負担金	217,400	217,400	県連会費等
支払寄付金	33,000	33,000	
委託費	77,700	77,700	
広告宣伝費	11,400	11,400	
渉外慶弔費	90,000	90,000	慶弔費等
表彰費	30,000	30,000	
リース料	231,764	263,646	コピー、電話機等リース料
支払手数料	363,855	533,044	振替・振込手数料等
新聞図書費	11,562	11,562	
雑費	8,217	8,217	
経常費用計	58,839,412	61,053,852	前年対比2,214千円減
評価損益等調整前当期経常増減額	170,869	200,472	
評価損益等計	0	0	
当期経常増減額	170,869	200,472	
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益計	0	0	
(2) 経常外費用計	0	0	
当期経常外増減額	0	0	
他勘定振替額	0	0	
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	
当期一般正味財産増減額	99,869	129,472	
一般正味財産期首残高	53,423,239	48,088,924	前年予算期末残高
一般正味財産期末残高	53,523,108	48,218,396	
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	
受取全法連助成金	18,814,900	18,843,900	
一般正味財産への振替額	-18,814,900	-18,843,900	
指定正味財産期首残高	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	
III 正味財産期末残高	53,523,108	48,218,396	

令和4年度 収支予算内訳表

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

(単位：円)

科 目		公益 1	公益 2	公益共通	小 計	収 1	他 1	小 計	法人会計	計
経 常 収 益	基 本 財 産 受 取 利 息	0	0	0	0	0	0	0	221	221
	特 定 財 産 受 取 利 息	0	0	0	0	0	0	0	77	77
	正 賞 助 会 員 会 費 収 入	0	0	11,800,000	11,800,000	0	7,375,000	7,375,000	10,325,000	29,500,000
	研 修 事 業 収 入	115,000	702,500	0	817,500	0	68,750	68,750	96,250	275,000
	広 報 事 業 収 益	0	0	0	0	600,000	0	600,000	0	600,000
	福 利 厚 生 事 業 収 益	0	0	0	0	445,000	0	445,000	0	445,000
	会 員 親 睦 事 業 収 益	0	0	0	0	0	4,100,000	4,100,000	0	4,100,000
	簡 易 保 険 取 扱 事 業 収 益	0	0	0	0	292,000	0	292,000	0	292,000
	受 取 全 法 連 補 助 金	0	0	18,814,900	18,814,900	0	0	0	0	18,814,900
	受 取 全 法 連 補 助 金	0	0	0	0	0	0	0	350,000	350,000
	受 取 取 部 負 担 金	0	0	0	0	0	1,228,000	1,228,000	0	1,228,000
	受 取 取 部 負 担 金	0	0	0	0	0	1,500,000	1,500,000	0	1,500,000
	受 取 雑 収	0	0	0	0	0	0	0	183	183
計		115,000	702,500	30,724,900	31,542,400	1,337,000	14,791,750	16,128,750	11,339,131	59,010,281
事 業 費	役 員 報 酬	2,646,000	1,098,000		3,744,000	144,000	618,000	762,000		4,506,000
	給 料 手 当	5,821,200	2,415,600		8,236,800	316,800	1,359,600	1,676,400		9,913,200
	中 退 共 済 掛 金	317,520	131,760		449,280	17,280	74,160	91,440		540,720
	福 利 厚 生 費	1,461,915	606,645		2,068,560	79,560	341,445	421,005		2,489,565
	会 議 費	266,162	450,861		717,023	883	7,017,266	7,018,149		7,735,172
	旅 費 交 通 費	888,159	704,617		1,592,776	14,376	1,327,697	1,342,073		2,934,849
	通 信 運 搬 費	1,008,543	575,734		1,584,277	53,377	371,869	425,246		2,009,523
	消 耗 品 費	1,214,970	44,110		1,259,080	4,080	335,510	339,590		1,598,670
	印 刷 製 本 道 費	2,933,611	1,074,863		4,008,474	285,714	321,093	606,807		4,615,281
	光 熱 水 借 料 費	148,617	61,671		210,288	8,088	34,711	42,799		253,087
	貸 借 料 料 金	1,323,000	549,000		1,872,000	72,000	309,000	381,000		2,253,000
	保 険 謝 金	0	0		0	0	10,000	10,000		10,000
	諸 支 払 負 担 金	232,000	3,112,000		3,344,000	0	0	0		3,344,000
支 委 会 託 場 宣 伝 費	446,000	0		446,000	0	0	0		446,000	
告 告 伝 費	114,360	241,710		356,070	9,230	90,000	99,230		455,300	
表 告 伝 費	409,000	1,548,000		1,957,000	0	286,000	286,000		2,243,000	
支 一 手 数 料	34,320	10,020		44,340	4,260	0	4,260		48,600	
新 一 手 数 料	10,000	0		10,000	0	130,000	130,000		140,000	
支 一 手 数 料	410,474	170,333		580,807	22,339	95,870	118,209		699,016	
支 一 手 数 料	350,419	146,412		496,831	109,670	140,844	250,514		747,345	
支 一 手 数 料	20,477	8,497		28,974	1,114	4,782	5,896		34,870	
支 一 手 数 料	48,553	45,039		93,592	792	50,399	51,191		144,783	
計		20,105,300	12,994,872	0	33,100,172	1,143,563	12,918,246	14,061,809	0	47,161,981
管 理 費	役 員 報 酬				0			0	1,494,000	1,494,000
	給 料 手 当				0			0	3,286,800	3,286,800
	中 退 共 済 掛 金				0			0	179,280	179,280
	福 利 厚 生 費				0			0	825,435	825,435
	会 議 費				0			0	1,518,428	1,518,428
	旅 費 交 通 費				0			0	154,151	154,151
	通 信 運 搬 費				0			0	639,477	639,477
	消 耗 品 費				0			0	185,330	185,330
	印 刷 製 本 道 費				0			0	1,488,719	1,488,719
	光 熱 水 借 料 費				0			0	83,913	83,913
	貸 借 料 料 金				0			0	747,000	747,000
	支 委 会 託 場 宣 伝 費				0			0	217,400	217,400
	告 告 伝 費				0			0	33,000	33,000
表 告 伝 費				0			0	77,700	77,700	
支 一 手 数 料				0			0	11,400	11,400	
支 一 手 数 料				0			0	90,000	90,000	
支 一 手 数 料				0			0	30,000	30,000	
支 一 手 数 料				0			0	231,764	231,764	
支 一 手 数 料				0			0	363,855	363,855	
支 一 手 数 料				0			0	11,562	11,562	
支 一 手 数 料				0			0	8,217	8,217	
計		0	0	0	0	0	0	0	11,677,431	11,677,431
経 常 費 用 計		20,105,300	12,994,872	0	33,100,172	1,143,563	12,918,246	14,061,809	11,677,431	58,839,412
当 期 経 常 増 減 額		-19,990,300	-12,292,372	30,724,900	-1,557,772	193,437	1,873,504	2,066,941	-338,300	170,869
他 勘 定 振 替 額					0			0		0
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税						71,000		71,000		71,000
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額		-19,990,300	-12,292,372	30,724,900	-1,557,772	122,437	1,873,504	1,995,941	-338,300	99,869
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高										53,423,239
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高										53,523,108
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額										0
受 取 全 法 連 助 成 金				18,814,900	18,814,900					18,814,900
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額				-18,814,900	-18,814,900					-18,814,900
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高										0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高										0
正 味 財 産 期 末 残 高										53,523,108